

主要行等の平成 28 年 9 月期決算の概要

1. 損益の状況（グループ連結ベース）

- 28 年 9 月期は、債券等関係損益が増加したものの、預貸金利回りの悪化等により資金利益が減少したことや株式等関係損益、役務取引等利益が減少したことなどにより、中間純利益は前年同期に比べ 10.1%の減少。

（単位：億円）

	26 年 9 月期	27 年 9 月期	28 年 9 月期	前期比
連結業務粗利益	53,320	55,569	52,747	▲ 2,822
資金利益	27,555	27,919	24,321	▲ 3,598
役務取引等利益	15,425	16,535	16,133	▲ 403
その他業務利益	5,194	4,967	5,675	709
うち債券等関係損益*	2,289	1,939	2,880	941
経費	▲ 31,537	▲ 32,704	▲ 33,029	▲ 325
連結業務純益	21,844	22,448	20,145	▲ 2,303
与信関係費用**	2,500	▲ 693	▲ 989	▲ 296
株式等関係損益	1,462	1,895	1,465	▲ 430
うち株式等償却*	▲ 88	▲ 375	▲ 185	190
当期純利益	16,826	16,051	14,435	▲ 1,616

*債券等関係損益、株式等償却については銀行単体ベース。**与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

（参考）	26 年 9 月期	27 年 9 月期	28 年 9 月期
貸出金（末残）***	277.7 兆円	292.5 兆円	289.1 兆円

***貸出金は銀行単体ベースの銀行勘定計。

2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

- 不良債権額は 28 年 3 月期に比べ減少、不良債権比率も低下。

（いずれも平成 11 年 3 月期の金融再生法に基づく開示以降で最低）

	27 年 9 月期	28 年 3 月期	28 年 9 月期
不良債権額	3.1 兆円	3.1 兆円	2.9 兆円
不良債権比率	0.98%	0.97%	0.91%

3. 自己資本比率の状況（グループ連結ベース）

- 国際統一基準行の総自己資本比率、Tier1 比率、普通株式等 Tier1 比率は、28 年 3 月期に比べ上昇。

- 国内基準行の自己資本比率は、28 年 3 月期に比べ低下。

（国際統一基準行：4 グループ）

（国内基準行：3 グループ）

	28 年 3 月期	28 年 9 月期		28 年 3 月期	28 年 9 月期
総自己資本比率	16.17%	16.65%	自己資本比率	13.30%	12.74%
Tier1 比率	13.21%	13.45%			
普通株式等 Tier1 比率	11.38%	11.80%			

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）グループ連結ベースは、みずほFG、三菱UFJFG、三井住友FG、三井住友トラストHD（以上、国際統一基準行）、りそなHD、新生銀行、あおぞら銀行（以上、国内基準行）を対象とする。

（注3）銀行単体ベースは、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、三菱UFJ信託銀行、みずほ信託銀行、三井住友信託銀行、新生銀行、あおぞら銀行を対象とする。